



礼拝ミニ講座 (1) <前奏>

礼拝に<前奏>が用いられるようになった背景は、旧約聖書から始まる礼拝の歴史※1 の中でいくつかの流れが考えられます。長津田教会では、心を静めて祈りつつ主の臨在を待ち望み、主に心を向ける時とし、礼拝で語られるみことばを思い巡らし、祈るための時としています。BGM※2 や開始のベルのようなものではなく、礼拝は前奏から始まっていると考えます。できるだけ前奏が始まる前に席に着き、礼拝に備えましょう。

※1 「礼拝学」「礼拝史」「教会音楽史」などの分野でさらに学びを深めることができます。

※2 前奏で弾かれる曲にも意味があり、会衆が神とみことばに向かうための選曲が奏楽者によってなされています。解説がある場合は参考にしつつ心を整えましょう。

参考聖書箇所…詩篇 65 篇 1 節、ゼカリヤ書 2 章 13 節、イザヤ書 30 章 15 節 他

「礼拝ミニ講座」は、礼拝について学びの入口として、会衆が礼拝について（特に礼拝プログラムについて）学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。